

1 教科等及び給食の時間における食に関する指導

各教科及び学級活動の時間に学級担任と連携し、学校給食を教材とした食に関する指導を行った。今年度は、新型コロナウイルス禍の状況に配慮しながら、授業時間だけでなく給食の時間を活用し内容や方法を工夫して指導を行った。また、給食ができるまでの様子を紹介する ICT 教材の作成を行った。



【学級活動での指導】



【給食の時間の指導】



【弁当の日の指導媒体】

2 新型コロナウイルス禍における指導や情報発信の工夫

学級活動では、各学校と実施時期や学習内容・方法を相談しながら指導を実施した。給食時間の指導では、視覚的に捉えやすい媒体を使い、会話が無いように工夫した。

休校中の5月に、栄養バランスを考えた食事をとることができるよう、栄養やレシピを掲載した「食育だより」(別紙3)を配付した。また、あま市公式ウェブサイト「あま市の給食レシピ」に動画を公開し、児童生徒が作ることのできる料理を紹介した。



【給食レシピ動画】



3 個別の相談指導

養護教諭や学級担任と連携し、食物アレルギーを有する児童生徒及びその保護者を対象とした面談等の個別の相談指導を行った。

4 教職員への情報発信

- (1) 給食及び食の重要性や残食量の現状を知らせる資料を提供した。
- (2) 教職員を対象とした「食育メッセージ」を発行し、食に関する指導に役立つ情報を教職員全員に発信した。

5 児童生徒・保護者への情報発信

- (1) 献立や食材、行事食等について知らせる放送資料や掲示資料等を提供した。
- (2) 児童生徒や保護者を対象とした「給食だより」(別紙4)を毎月発行し、給食の内容や、季節に沿った食に関する情報、クイズ、給食レシピ等を掲載した。

6 学校行事における情報発信

学校行事へ参加をして、各学校主催の給食試食会、就学时健診等で、保護者を対象とした食に関する講話等を行った。